

平成30年第9回大田市教育委員会定例会会議録

平成30年8月23日午後2時00分、大田市教育委員会事務局において、第9回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成30年8月23日 午後2時00分

閉 会 平成30年8月23日 午後3時32分

2. 出席委員の氏名

教育長 船木三紀夫

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島教育部長 森本総務課長 和田学校教育室長 田村学校給食センター長
霊山社会教育課長 中田石見银山課長補佐 西村山村留学センター長
松本総務課長補佐

6. 開 会

船木教育長開会を告げ開会

(1) 第8回の会議録について

教 育 長 第8回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。

委 員 (なし)

教 育 長 第8回の会議録については承認とさせていただきます。

(2) 経過報告について

教 育 長 経過報告に入ります。先月は26日に定例教育委員会を開催しておりますので、それ以降について報告させていただきます。

27日政策企画会議、それと都市教育長会が安来で開催されました。主に働き方改革について各市町の取組状況について協議を行いました。また学校へのエアコン設置についての話しもありました。

31日社会教育委員の会を開催しました。

8月2日島根県学校校長会が来庁され、地震に対する義援金をいただきました。

3日県立出雲古代博物館で「古墳は語る古代出雲誕生展」の開所式に出席しました。今回の展示物の中に山陰道の関係で大田市内で発掘した出土品が展示されています。

4日天領さん久手会場がありました。

5日天領さん大田会場があり、天領踊りに参加しました。

6日「世界文化遺産」地域連携会議が東京で開催され、市長と石見銀山課職員が出席しました。

7日教科書採択協議会が開催されました。

8日世界遺産登録10周年実行委員会が10種年事業の総括ということで開催され、反省点、今後の予定等を協議しました。

9日ALTの辞令交付式を行いました。2名が帰国等され、3名を新たに採用しました。全ての方がアメリカ出身です。昨年度は4名でしたが、今年度は5名体制で指導を行います。また同日租税教育研修会が開催されました。

10日訪韓団の報告会が開催されました。今年度は10名の中学生を派遣しました。また同日石見銀山遺跡調査専門会議を2年振りに開催しました。

11日ゆのつ温泉夏まつりが開催されました。11日から15日

までを学校閉庁日としました。1件学校OBの方から「学校に電話をしたが繋がらなかった」といった苦情が寄せられています。反省点として、学校に留守番電話の設置を考えなくてはならないのではと考えたところです。

17日道徳教科の全面実施に向けた指導の改善という内容で、管理職並びに教務主任等研修会を開催しました。

19日第22回三瓶高原クロスカンントリー大会を開催しました。猛暑の影響を考慮して、開催時間の調整を行いました。無事に終える事ができました。後程担当課から報告があります。

22日教育委員会ファミリーデーということで11名の小学生の参加があり、午前中に教育委員会の仕事を見学したり、お父さん、お母さんの仕事ぶりを見てもらいました。

本日23日は定例教育委員会です。

26日には天領さん大森会場が開催予定です。また同日スペシャルオリンピックストーチパレードが実施されます。これは知的障がい者のスポーツの普及を目的に、大田市駅から大田市役所までトーチパレードするものです。

29日教員採用候補者選考試験があります。また同日教育魅力化井戸端会議を仁摩農林環境改善センターで実施します。

教育長
森本課長

報告は以上です。補足等ありますか。

教育魅力化井戸端会議についてです。本日が申し込みの締め切りとなっていますが。周知が十分に出来ていなかった関係で、非常に申し込みが少ない状況ですので、改めて関係機関へ周知を図りたいと考えています。本日までの参加申し込み状況は、仁摩会場が19名、大田会場が9名といった状況です。

川島部長

29日開催予定でした石見銀山課の「ここまでわかった石見銀山」ですが、台風の影響で中止となりました。また社会教育課の「作文教室」も同じく台風の影響で中止となりました。

それと9日に昨年に引き続き学校運営協議会研修会を開催しました。前雲南市教育長の土江さんを講師にお招きし、コミュニティースクールの講演をしていただき、70名余の方に参加頂きました。

梅枝委員

学校閉庁日の関係で学校に留守番電話の設置をといた話がありましたが、もともと学校には留守番電話は設置されていないのでしょうか。

森本課長 設置されていません。
梅枝委員 そうなると夜間の緊急電話等の対応はどうなっているのでしょうか。学級毎に緊急連絡網はありますが、急な場合は学校に電話しても対応できないという事でしょうか。
川島部長 留守番電話に入れられても対応は翌日になりますので。緊急対応にはなりません。
梅枝委員 転送機能等を付ければできますが、そういった機能は付いてないという事ですね。
教育長 働き方改革の一貫で、そういった対応をしている学校も出てきていますので、検討していかなければならないと思っています。

(3) 議題

教育長 それでは議題に入りたいと思います。議題35号、36号教科書採択については非公開とさせていただきます。
非公開案件は関係者のみとさせていただきます。
議題37号学校の適正配置についてです。
前会の定例会の議題にも上げさせて頂いていましたが、PTA、学校関係者には昨年度意見交換を行いましたので、今年は地域の方を対象に意見交換会ということでお示ししています。内容については総務課からお願いします。
森本課長 地域との意見交換会(案)の資料をご覧ください。

「地域における学校について」という題で、サブタイトルとして「これからの大田市を担う人材育成について」ということで地域の皆さんのご意見を聞きに行きたいと考えています。開催の目的を3点挙げています。実施概要についてですが、各まちづくりセンターと調整しており、実施時期として一番早いところで10月2日火曜日からスタートし、11月の最終週までで終わる予定です。対象者は地域住民、社会教育団体関係者、まちづくりセンター職員、公民館職員としています。開催時間は平日の午後7時から午後8時30分の予定です。会場は各まちづくりセンターで、各小学校単位の16カ所を予定していましたが、一部地域では各まちづくりセンター単位で開催して欲しいといった意見がありましたので、少し増える見込みです。出席者は教育長以下担当職員が出席することとしていますが、教育委員の皆様にも各会場1名の出席をお願いしたいと考えています。周知方向につきましては、広報に併せてチラシを全戸配布いたします。またホームページ、

銀山テレビの告知放送等でも周知することとしています。内容は現状説明と質疑を約30分程度実施し、1時間程度を意見交換として、テーマを3つ想定しています。

1つは「地域が望む学校像について」で、2つ目に「地域の中で、子どもたちにどのような体験をさせてやるべきか」3つ目が「地域は、学校とどのように関わっていけるのか」です。

教育部長 昨年保護者との意見交換会に参加頂きましたが、ワークショップ形式で意見を出して頂いたところですが、今回は地域の方が中心となるので、どういったやり方が良いのか、皆さんのご意見を聞かせて頂けたらと思います。

福間委員 表には出ていませんが、裏には学校再編という事があるのですよね。昨年の保護者への説明会では、今後の人数の推移を説明した時に、小規模でも満足しているといった意見がありました。今回も今後の児童数の推移を説明し、再編へ持って行こうとしているのに、片方では、「地域が望む学校像」だとか「地域の中で、子どもたちにどのような体験をさせるべきなのか」や「地域は、学校とどのように関わっていけるのか」といった意見交換は相反しているのではないかと思うのですが。実は統合することで、地域の活動は疎かになっている、例えば一中で志学・北三瓶に魅力ある場所があるからそこで活動をしようとなっても、時間の関係で無理だと思います。相反する内容の中でどうやって教育の魅力を話させるか、大田市全体で考えた時に、学校統合することで地域に根差した教育ができるのか、どう繋がるのか、どこへ持って行くのかは難しいです

教育長 こういった話題は議会でも出ているのですが、前回の計画、基本方針が有りましたが、その計画も一昨年で切れています。その計画に基づいて統合した所もあれば、計画枠の一部で統合した所もあります。また、統合はしないと決めた学校もあります。教育委員会のスタンスとして、学校、地域、保護者が納得しないと統合しないよといった事だったので、地域が反対をして統合しなかったというのが大半です。ですが今後、1学年2人か3人でずっとやってくのかといった事に対して保護者としては不安があります。地域としては学校が無くなると、地域が寂しくなるということで反対があります。そういった三者の意見が合わないということで統合しなかった所も有る訳です。先の計画は切れている訳ですか

ら、今回は教育の魅力化を考える中で、新しい学校の在り方をスタートしたいといった気持があります。過去の考え方は終えて、コミュニティスクールだとか、大田の魅力化をやっていく中で、学校が無くなると寂しいという事ではなくて、子どもの少ない学校に地域が協力をして、子ども達に地域の魅力を伝えて行く覚悟を持って下さいといった方向へ持って行きたいと思っています。複式学級の児童が学力的に劣るかといったらそうではありません。少人数で先生が目が行き届いて、基礎的な学力は付きやすいかもしれませぬ。しかし、問題を見つけ、その事を子ども達で話し合う中で問題を解決して行くと言った事は少人数の学校では難しいです。情報化が進んでいますし、交通網、道路も良くなって来ていますので、どういった方法で少人数の学校の問題をクリアするかを話し合うのも良いと思います。

福間委員 最初は学校再編が大前提であったので、名前を変えても地域住民の感情としては再編の話だと思ってしまう。

前回の統合で統合した学校の地域の方に、統合した後の様子を聞く機会が今までに無かったように思うのですが、統合したことによるメリット、デメリットは把握されていますか。

川島部長 平成29年の2月から3月にかけて統合した5校の保護の意見交換を行っています。概ね統合した5校については、人数が増えて部活動等の活動が広がり、保護者としては喜んでおられました。しかし、地元地域との距離が離れてしまった事で、地域の行事等に参加ができなくなったり、しにくくなった等の意見もありました。

教育長 私は、小学校と中学校の統合は違うと思っています。同じ様に人数が少なくなったから統合するではいけないと思います。中学校は高校へ繋げるステップにならなくては行けません、小学校のうちは地域との繋がりを大事にしなければなりません。こちらからではなくて、地域の中からそういった意見が出てくるような仕掛けが必要だと思っています。

仲野委員 いきなりこれについて考えましょうというのは、なかなか意見も出ないと思います。地域がどう関わっていくのかといった事は、奉仕作業に参加したりだとか、子ども達が何かする時に手助けすると言った事しか思い浮かばないので、可能なら統合の成功事例や地域との関わりを2、3紹介されるとイメージが共有できて、

意見が出易いと思います。私は隠岐での取組を聞かせて頂く中で、教育の魅力化はこういった事なんだとイメージすることができましたのでそう思いました。

川島部長

再編といった内容では難しいですが、大元は教育ビジョンの基本理念の、「わが里を誇り、大田と世界の未来を拓く」です。その為にどうあるべきなのか、ふるさとを誇る子ども達を育てるにはどうするのか、切り拓く力をどう付けて行くのかです。今総合計画の策定をしていますが、将来像は、「子ども達の笑顔が溢れ、みんなが夢を抱けるまち大田」となっています。その為に教育はどうあるべきなのかです。教育長がさっき言った様に、小学生の時に付けさせたい力と、中学生の時に伸ばしたい力は違うと思います。地域としてそれを創っていく環境はどういうものなのか、学校の配置も含めてどうしたら良いのかを、先に取り組んでいる所の事例を提示させて頂いて、地域ではどうですかといった形で落とし込んで行くといった形かなと考えています。

福間委員

三瓶の山村留学は、生徒の減少をなんとか食い止めようと始まったと思うのですが、ああいった形で外から入れるも良いと思うのですが、教員の配置等考えると危険的な発想ですが、学校再編ではなくて、学校自由校区にすると、自然を学びたい子は三瓶の学校へ通えば良いし、大まかな校区は決まっても、自由発想的な形にした方が、他所の県・市には無い大田市独自の魅力化になると思います。特色のある学校にすることで生徒を集めることもできると思うのですが。すごく大変なことです。ここまで来たら何か思い切った事をやるといった発想も良いのではと思います。校長先生が大変ですが、うちの学校はこういった魅力があると言った基本方針を持ちながら、柱をしっかり守って魅力化に繋がるような教育をしていかなければならないと思います。

川島部長

私は小学校のうちは地元定着でしっかりと地元のふるさとというものを学んで、中学校では各学校の魅力・特色を学んでいくと面白いと思います。

福間委員

不登校傾向の子どもを考えた時に、大きな学校では目が行き届かなくて、他の施設や教育機関へ行く場合がありますが、そういった子ども達も本当は一緒に勉強したいといった願望がありますので、大きな集団では無理でも、小さな集団ならできることもあるので、自由に動くことができればそういった対応もできると

言った発想からそう思ったところです。

教育長 そういった話を本当は地域で話し合いたいと思っているのですが、なかなかこちらから出す訳にはいかないのです。こちらから出すと、もう決まっているのではないかと思いますし。

川島部長 あすなる教室もありますが、そこにさえ行けない子どももいますし、教育機会の確保をしっかりとやっていかないといけないと思います。分けるのではなくて、通常の生徒と一緒に学べるところを創ることも必要です。

梅枝委員 個人的な意見ですが、「三つ子の魂百まで」と言われています通り、幼い頃にご家族や身近な人からの愛情をたっぷり受けることで、守られているという安心感が備わり、将来困難なことが起こったときに自分を支える力になると思います。ですから、小学校は自分の住んでいる地域の学校で地域の方に見守られながら教育を受けた方が良いと思います。その素地ができた上で、いろいろな事情から他地域の中学校へ行くことになっても頑張ることができるのではないかと思います。

教育長 突き詰めると、小中一貫校はどうかといった考えも出てくるかもしれませんね。

梶委員 魅力化とか、特色ある教育といったことで進めて行くことは大事かもしれませんが、一つ押さえておかなければならない事は、何か特色が無ければ魅力的な学校では無いのかといったらそうでは無いと思いますし、誤解が生まれてはいけないと思います。何の特色が無くても、子ども達が「明日も僕たちの学校に行きたいな」と、「今の学校が楽しい」と思えれば、私はそれが魅力だと思います。知徳体のバランスの取れた学校が一番良いと思います。子どもが主役になって活かされていく事で、心が充足して、いじめもなくなると思います。それをおさえてから、子ども達が楽しいと思っている学校に保護者と地域が更に地域の特色といった調味料を振りかけて、もっともっと誇れる魅力的な学校にしていくといった想いでやっていく事が良いと思います。あまり特色、特色といってしまうと、本来の目的が薄れてしまう様に思います。

教育長 本当の魅力ある学校とは、子どもが行きたいと思える学校で、保護者が行かせたいと思える学校、また教員が勤めたいと思える学校だと思います。最終的にはそこに持って行きたいのですが、そのために何をするかが問題です。

- 梶 委員 極論でいうと、この学校は魅力と思われる活動が無いと思われても良いと思います。でも入ってみると子ども達が生き生きとして活動している、それが子ども達にとっての本来の魅力だと思います。そこに地域が協力して、私たちも一緒に頑張っているんだよといった想いが出てくれば素晴らしい学校になると思います。
- 川島部長 奇抜な事をやらなければならないといった事ではないと思います。
竹下委員 私は基本的に地域の方が学校教育に関わる場面が増えれば良いなと思っています。今コミュニティスクールを進めています。現実的にそういった所から充実させて行った方が良いのかなと思っています。先に仲野委員さんが言われた様に、地域が協力するといったら、奉仕作業だとかになってしまうので、学校からももっと情報発信して、地域の方が学校に入り易い状況を創って地域の方に關心を持ってもらう事が必要だと思います。
- 教 育 長 各学校に今コミュニティスクールについて説明に行っていますが、各学校で温度差があります。学校で運営方針を決めて、地域の方にはこれとこれとをお手伝いしてといった感じになっています。本来は地域の方と議論をして、色々な意見をいただく中で運営方針を一緒になって決めて行くといった形が本当なのでしょう。今は過渡期ですので、粘り強くやっていく中で、地域の人が変わっていかねばならないと感じています。
- 川島部長 コミュニティスクールの理想は、校長先生等には異動があるですが、人が変わっても地域がこういった子ども達を育てるんだという事をみんなで認識して、地域主導で育てるといった活動が続いて行くことだと思います。そこまで持っていく事は大変だと思いますが、そこへ持って行くためにも学校はもっと地域に情報を出すことが必要だと思います。
今頂いた意見を事務局で検討させて頂いて、日程については後日調整させて頂きます。
- 教 育 長 続きまして日程の5. その他報告事項です。来月から始まる9月議会へ補正予算を要求していますので、それについて報告をお願いします。
- 森本課長 今回の補正は教育委員会総務課と石見银山課からお願いしています。まず総務課分から説明を行います。No.8、2件の寄附金を頂きましたので、それを新規積立金として教育文化振興基金に積み立てる予算を要求したもので、10,024千円です。No.33、一

般校具備品購入費です。大田小学校の給食用牛乳保管庫が故障しましたので、その買替整備予算で643千円、これについては6月12日に更新済です。No.34、校舎等施設改修事業です。大阪市北部を震源とする地震発生により、ブロック塀倒壊事故を受けまして、文科省から県を通じて緊急調査をなさいという事で調査を行った結果、小学校で撤去・改修が必要なブロック塀が存在しますので、これに対する経費2,300千円を要求したものです。中学校でも1箇所ありましたが、これにつきましては現予算で対応します。緊急を要しますので、議会前に着工する様に準備しているところです。No.35、園舎営繕事業です。久手幼稚園敷地に隣接していました建物を所有者が解体撤去されたことで、隣地から自由に行き来できるようになった為、フェンスを設置する予算で、200千円です。No.44、島根県西部地震災害復旧事業です。4月の補正予算で一定金額を付けて頂き、緊急対応が必要な物はその中から対応していましたが、被害の大きな物は国庫補助を申請いたしまして、文科省と財務省の査定を受けて補助の見込みがたった事及び事業内容の精査もする事で、不足分の要求と財源の組替えをおこなうもので、24,706千円の要求です。

中田補佐

続いて石見銀山課の補正予算です。No.6、石見銀山基金事業です。これは事業主体が市以外の宗教法人や個人が実施する西部地震の被害物件の整備に関し、個人負担分に対する補助金として基金を活用するもので、3,159千円です。No.32、島根県西部地震対策費です。これは4月の補正で島根県西部地震災害復旧費として要求していましたが、事業主に対する補助事業であるために、対策費として要求し直すもので、6,149千円です。No.45、島根県西部地震災害復旧事業です。これは4月に要求した中で今回消防費として要求したものを外し、また事業費を整理することで、10,989千円を減額要求し、国県の補助も頂けることとなりましたので、財源組替えも行うものです。

教育長

西部地震関係予算につきましては、事業が進む中で補助事業であったり、事業費の精査を行う中で増減したものとご理解下さい。また今回の要求には上がっていませんが、小中学校のエアコンの設置につきましては、緊急に行わなければならないということで、内部調査を実施し事業費の精査を行っているところです。早ければ12月議会に何らかの形をお示ししたいと考えています。国の

補助金等の動向は不明ですが、市長部局とも設置する方向での見解は同じですので、進めていくことになります。方向性が分かれば皆さまにもお知らせいたします。

梅枝委員
教育長

暖房も一緒になりますか。

冷暖房を一緒にすると、一定の規模以上のエアコン整備となりますので、暖房は今までのままか、エアコンとの併用になると思います。

他に質問はありませんか。

委員
教育長

(なし)

それでは続きまして大田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について総務課からお願いします。

森本課長

資料No.2をご覧ください。大田市いじめ問題対策連絡協議会委員名簿の網掛けの所が新任委員です。前任期が7月いっぱいでしたので、8月から新たな任期で委員の委嘱をお願いしたものです。PTA連合会につきましては役員改選、教育部長につきましては人事異動による変更です。出雲人権擁護委員協議会と大田地区保護司会につきましては、それぞれの会の推薦により変更となったものです。事務局につきましても人事異動により変更となっています。市長の委嘱となっていますので、市長の決裁を受けましたところ、女性委員の割合が低いとのご指摘がありましたので、次回からは女性委員を増やす様にしていきたいと考えています。また第1回の協議会を9月20日に開催することとしています。

教育長

ご質問等ありますか。

委員
教育長

(なし)

続きまして2018クロスカントリー大会の結果について文化・スポーツ推進室からお願いします。

霊山課長

資料No.3をご覧ください。クロスカントリー大会の結果についてです。大会を8月19日日曜日に開催しました。今年は例年になく暑いという事で、熱中症対策として8kmの部のスタートを12時10分から午前8時30分に変更し、5kmの部を最終としました。最終ランナーのゴールが12時15分ということで、概ね午前中に終了することができました。天気は晴、暑さ指数は24で、一番気温が高かった12時頃の気温が31.5℃、湿度48.8%でした。当日の参加人数は1,475人でした。前年より7人増えたところですが、また8kmの部3クラスで記録更新がありました。

救急搬送された方はありませんでした。ゲストランナーとして竹澤健介氏をお招きしました。朝の「ウォーミングアップをしよう」には103人の方が参加されました。参加者との質疑応答コーナー1回目には40人、2回目には15人の方が参加され、3回の講座に計158人の参加があったところです。

教育長 記録更新は8kmを涼しい時間に持ってきた影響があるのでしょうか

福間委員 そうだと思います。

8kmの部を最初に持ってきたのは正解だったと思います。

教育長 参加者の感想はいかがでしたか。

霊山課長 まだ集計中ですが、8kmの部に参加された方に対して、開始時間はどうでしたかと言った問いに関しては、78%の方が良かったと回答されています。開催の時期に関しては、今のままで良いが91%でした。

福間委員 良くなかったという意見の中に、8kmを走った方で2種目出場したかったのに、最初に8kmを走ることによって体力を消耗し、その後の3km等に出場する事ができなくなったといった意見がありました。

教育長 この結果を受けて、また来年に繋げて行きたいと思います。

議題は以上ですが、その他何かありますか。

和田室長 資料等ありませんが、学校の業務改善ということで島根県の方でスクールスタッフ配置事業という事業をしておられます。中身は先生方の業務負担を軽減するという事で、例えば学習プリントの印刷配布だったり、行事準備の手伝いだったり、採点業務の補助であったり等先生の業務の一部を手伝う事で、勤務超過の時間を削減することに充ててはどうかといった趣旨で、今年度から始まった事業です。大田市については県から、大田小と大田一中2校を指定で、そういった県の補助事業を行って欲しいと依頼がありました。4月から人選を行っていましたが、ようやく決まりましたので、2学期か大田小と大田一中に人を配置して、業務改善に向けた取組を始めます。基本の勤務時間は1日6時間となっていて毎日勤務です。

森本課長 もう1件、タイムカードの導入についてです。今年度から実施ということで進めておりましたが、ようやく形が整いましたので、2学期から導入することとしています。9月の校長会で報告し、

9月いっぱいを試行期間として、10月から完全実施する考えで
います。先生方に負担の掛からないように、簡単な機器の導入に
しました。

梅枝委員 データを取って意識を変えていく事が目的ですね。

川島部長 個人毎の月集計が自動にできますので、自己啓発だったり、後の
施策のデータにしたいと思っています。結果を見て管理職が業務
の割り振りを指導することも考えられます。

西村センター長 夏休みに入り実施していました短期の山村留学が終わりました。
短期、長期コースも定員一杯の参加者でしたが、無事に終わる事
ができました。大変暑い期間でプログラムの変更もありましたし、
食中毒への心配もありましたが、概ね満足して頂けたと思います。
また、お盆の時に北三瓶のふるさと夏祭りがあったのですが、こ
れに山留のOB子や保護者13人程度来られていました。受入農
家さんも大変喜んでおられました。今週には子ども達も帰って来
て2学期の長期が始まります。

教育長 他にはありませんか。

(なし)

それでは、議題等は全て終了致しました。次回の定例会は9月
26日午後2時からです。よろしくお願ひします。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成30年9月26日

作成者 総務課長補佐 松本朱美

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成30年9月26日

教育長 船木三紀夫

委員 竹下あやせ

委員 伴野義文

委員 梶 伸光

委員 梅枝奈保美

委員 橋岡悠隆